

質問 昭和35年村から町となり来年で50周年を迎えます。町として記念事業等をする予定があるのか伺います。

町長 町制施行50周年という大きな節目ですので町民憲章の制定や地域の皆様が知恵と労力を出し合って行う公益的な事業に対する支援を行いたい。



植村 敦

Q、来年度幌延町制施行50周年を迎えるが、町としての考え方は

A、協働のまちづくりの精神に則り町民憲章の制定や町民自ら行う公益的な事業支援をしたい

質問 町制施行50周年の町の考え方をどのように町民に周知していくのか。

町長 町としては協働のまちづくりの精神から町政懇談会、町内会関係などから事業要請又は協力があれば支援して行く。

質問 来年9月1日の予定なので今後検討を重ねて行く。幌延町ふるさと創生

かこれかに入るよう、力を注いでいくのか。

町長 光ファイバー設置には単費ではお金がかかり、到底無理な状況だったが、今回の制度を利用し、いろいろ検証し、議会と相談しながら進めて参りたい。

質問 注文と配達サービスの構築は。

町長 商工会や関係機関と打ち合わせの中、今後いろいろ検討を進める。

質問 町長のリーダーシップ発揮で、本件はあれかこれかのもうこれですからお



50年前の幌延町

願いたい。

町長 早急に実現のため頑張る。

質問 民主党政権が成立したが原子力政策はどう変化するか。

町長 独立行政法人の事業を抜本的に見直すと言われていたが、原子力推進に変化はないと思う。

質問 町の防災計画に深地层研究センターは何故入らないのか。

町長 自然災害と事故災害



見 悟

Q、町の防災計画に深地层研究センターは何故入らないのか

A、放射性物質を持ち込まないので入らない

に分類される。深地层研究センターは放射性物質を扱わないので、大規模な事故は想定していない。

質問 多額の費用でボーリング調査や立坑掘っている防災計画に入るのには当然と思うが。

総務課長 法的には規定がないので入れる必要がない。

質問 「実規模設備整備事業

基金の具体的な活用方法を検討すべき時期と思うが町長としての考えを伺います。

町長 平成元年3月に基金条例を設置した。目的としては、地域の産業、経済等の振興やまちづくり事業の補助財源などにあてるとしており平成20年まで金田心象書道美術館建設事業を始め各種まちづくり事業の補助金として3億円あまりを取り崩している。平成18年度以降は電源立地対策交付金のうち5千万円を地域振興活用がなければ当基金に積み立て後年度以降のまちづくり財源として行きたい。



実規模設備整備事業

平成20年度末で5億1千8百万円余となっており地域の活性化や雇用の場づくりの有効な事業の基金活用を考えている。

今後議員の皆様とも議論を重ねて検討していく。

業の今年度予算は。

町長 2億8千5百万円と公表されている。

質問 原子力機構の今年度予算は37億円と聞いているが、地元の経済効果はいくらか。

町長 工事請負、物品の購入とリース、社宅、寮の借入と管理業務、警備、清掃、運転業務などがある。幌延事業協同組合への発注も含めて5億2千万円程。

質問 今まで(3月時点)で出て来た経済効果から見ると少ないのではないか。

総務課長 工事よりも研究の方が主となって来たので、少なくなるかも知れない。

質問 酪農問題について質問します。3月議会では前向きに近隣町村並の後継者新規就農者対策を考えると述べていたが、その後はどうなっているのか。

町長 いろいろと協議をしている。

質問 天塩町の地域雇用創造計画などを参考にして推進したらどうか。

町長 農協とタイアップして進めて行きたい。

質問 3月以降の進展状況は。

副町長 大雨などの関係であまり進展していない。これから取り組んで行きたい。